f

エイジツ末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は灰黄褐色を呈し，わずかににおいがあり，味はわずかに粘液様で，渋くて，苦く，またわずかに酸味がある.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，極めて厚壁で径 35～70μm の毛の破片，褐色のタンニンの塊を含む表皮及び下皮の破片，灰褐色の内容物を含む細胞壁の薄い基本組織の破片，細い道管の破片，シュウ酸カルシウムの単晶，双晶又は集晶(花床の要素)，厚壁組織の破片，繊維群の破片，細い道管の破片，褐色のタンニン又は粘液を含む表皮の破片(果皮の要素)，アリューロン粒又は脂肪油を含む多角形の内乳の破片，多角形でタンニンを含む外面の表皮の破片，やや長形で側壁が波形の内面の表皮の破片(種子の要素)を認める.